

会 議 録

1 会議名

平成30年度第2回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

（1）平成30年度上越市地域活動支援事業の決定について

（2）その他

3 開催日時

平成30年5月15日（火）午後6時30分から午後7時45分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：丸山 進（会長）、西山新平（副会長）飯田秀治、五十嵐正則、折笠弘志、
金井貞子、佐藤祐子、清水薫、中川よしえ、難波一仁、渡辺喜一

・事務局：牧区総合事務所 山本所長、橋詰次長、宮腰G長、綿貫班長、近藤主任

8 発言の内容（要旨）

【橋詰次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【丸山会長】

挨拶

【山本所長】

挨拶

【丸山会長】

- ・会議録の確認：五十嵐正則委員に依頼
- ・協議事項（１）平成３０年度上越市地域活動支援事業の決定について、事務局に説明を求める。

【事務局】

説明

【丸山会長】

今年度提案された全１２件の事業について、第１回審査結果により１件不採択になったが、そのほかの１１件を採択し、補助金額については採択基準による傾斜配分及び一律減額調整をして、総額４，９２９，０００円となり、７１，０００円の残額が生じた。しかし、過去の２次募集の提案を見ても１００，０００円以下は、ほぼなかった。ほかの地区では５０，０００円以下の提案は受け付けていないところもあることから、今回、２次募集はしないこととしたいと思うが、委員のご意見をいただきたい。

【飯田委員】

牧区の過去の提案で残額が発生した際、２次募集したりしなかったりしたが、ここ数年の状況を確認したい。

【丸山会長】

昨年は、残額が少額であったため二次募集をしなかった。一昨年は１８９，０００円残額があったため二次募集を行った。

【折笠委員】

毎年、残額が発生した場合、翌年度以降の牧区配分額に影響はないのか。

【橋詰次長】

配分額の決定方法は、定額プラス人口比で計算されるため、前年度の実績により配分に影響することはない。

【難波委員】

補助金の原資は税金である。無理やり使う必要はない。

【丸山会長】

そのほか意見を求める。

【一同】

なし

【丸山会長】

それでは、本内容で決定し市へ報告させていただく。

【丸山会長】

協議事項（２）その他について意見を求める。

【一同】

なし

【丸山会長】

それでは、４ その他（１）連絡事項について事務局に説明を求める。

【事務局】

説明

【丸山会長】

それでは、３つの項目について意見を求める。

まずは、地域協議会合同研修会開催について日程が決定したが意見を求める。

【一同】

なし

【丸山会長】

次に視察研修について、７月に合同研修会があることから、実施するのであれば１０月下旬頃と思われるが、実施するか否かを含め意見を求める。

【飯田委員】

昨年度は十日町方面への視察へ行った。同じ考えの仲間が集まり知恵を出し合い頑張っていることが分かり刺激となったが、あまり景色も牧区と変わらない中山間地に視察に行っても変化に乏しい。視察を行うのであれば、合併して十数年経過し、新しい施設が建設されているため、施設を見学することはどうか。しかし、個人的に無理に視察を実施しなくても良いとも考える。

【丸山会長】

ほかに意見を求める。

【西山副会長】

以前、勤務していた会社の関係で、プラント設計をしていた。その仕事の関係で長野県大町市平地区に大規模な乾燥施設を造った経緯がある。そこは集落営農ではなく、ある程度の農地を持つ者が会社組織を作り、１００町歩を超える農地を所有し営農している施設があるがそこはいかがか。

【丸山会長】

複数、視察研修を実施するという意見がでているがいかがか。

【難波委員】

地域協議会委員の組織にて、視察地に行くことにより良い研修となる。毎年、視察研修を行っていることから、今年度も実施してはどうか。

【丸山会長】

今年度も実施することで良いか。

【一同】

良い。

【丸山会長】

次回地域協議会までに、実施時期と視察地候補を考えてきてほしい。

【一同】

了承

【丸山会長】

次に牧区地区懇談会について、事務局から6月中旬から下旬に実施するという説明があった。昨年度は地域の課題を把握し、自主審議事項に取り組むため、1会場2人、委員の住む地区を含め1人当たり2会場へ出向いた。地域協議委員として地域の方々の考えを知ることは大切なことであるとする。今年度も同行してはいかがか。

【難波委員】

地域の課題把握するためにも、同行する必要があるとする。できれば自分の住む地区以外へ行き、地域の方々の声を聞いてみたい。

【清水委員】

賛成

【金井委員】

割振りが無くても自分の地区には参加している。それ以外の地区へ行くことでも問題ない。

【飯田委員】

自分の住む地区を含め2会場の割振りをしていただきたい。

【丸山会長】

自分の地区を含む2会場を希望する者、挙手願う。

(挙手者：飯田委員、五十嵐委員、金井委員、渡辺委員)

希望を反映し、1会場2人の割振りを行い同行することとする。後日、日程等を通知する。

【飯田委員】

地区懇談会を行うと、道路修繕等の陳情内容が中心となるため、そうならない様な会の進め方となるよう工夫して実施してほしい。

【事務局】

事前に周知するとともに、また女性の参加を促すよう工夫したい。

【丸山会長】

協議事項及び連絡事項が終了したが、ほかに意見等があるか。

【中川委員】

以前から地域活動支援事業の補助金の使い方に疑問がある。もっと有効的に使えないかと感じている。例えば、牧区の中心部にある空き家を改築して、若い者が住みたいと思う話題性ある環境をつくってはどうか。若い者を定住させないと、保育園や小学校がなくなるということになっては困る。

【丸山会長】

地域活動支援事業の目的に相応しいか確認する必要がある。また、この地域活動支援事業は多数の団体が提案するという観点から、ひとつの事業で終わってしまうという懸念がある。

【中川委員】

規則等を調査したわけではなく漠然とした話ではあるが、このままだと過疎になるだけで、地域が支援して若い者が格安で住める環境を整えてはどうかという提案である。

【丸山会長】

地域活動支援事業のひとつの活用方法という提案として、参考としたい。ほかに意見を求める。

【難波委員】

市内で鳥獣等の被害が発生しているが、本当に遭遇した場合は怖い。見回り等の状況をお聞きしたい。

【山本所長】

クマ等の目撃情報があった際は、まずは情報無線で周知し、そのエリアをパトロールをする。予防対策も大切である。

【宮腰グループ長】

牧区での情報が寄せられたケースは、他の地区に比べて少ない状況である。目撃者からの通報が100%である。その者からの情報を元に対応するため、クマと言われれば

クマとして取り扱う。まずは情報無線での周知、その後パトロールを行う。その後、保育園、小学校、中学校、猟友会への情報提供、目撃された場所に看板設置を行う流れとなる。牧区では現在、注意喚起を行う程度の動きとなっている。

【飯田委員】

小学校では、複式学級になった。近隣の地区でも子供が少ないという声が聞こえる。子供より高齢者が多くなっており危機感を感じる。保護者から不安の声などでていないのか。

【丸山会長】

沖見小学校が牧小学校と統合する際、PTA会長をしていた。地区の協議会でも協議されたが保護者に一任され牧小学校と統合する運びとなった。その際は、いろいろな条件を確認したうえでの統合であった。

【中川委員】

子が小学生の時に複式学級を経験した。複式学級を心配される声を聞くが全く弊害はない。小中合同文化祭等を見ても一体感が感じられ感動する。先生が目が行き届き、小規模校でも何ら問題なく学習できる環境にある。大規模校が良いということばかりではないことを実際に見て感じてほしい。小規模だとか複式学級がかわいそうとかではなく、地域で暖かく見守り育てることが大事な教育である。

【佐藤委員】

中川委員の意見に大賛成である。私も複式学級を経験した。複式学級を経験した子供が大規模校から来た子供と渡り合えないか、そんなことはなかった。大規模校でひとりひとりの人格を見てもらえない方がよほど悪い。地域の目が注がれ、先生方の目が行き届いている牧小学校は素晴らしい。市街地へ転出する者をなんとか食い止めてほしいと感じている。

【中川委員】

小規模校だからと否定的なこと言わないで、手の行き届いた教育が受けられるとみんなと言えば、転出者を防げるのではないか。また、牧区の大自然に生かされている素晴らしさを子供達に伝えていかなければならない。

【難波委員】

私も統合問題時にPTAに携わっていた。最後はPTAが答えを出した経緯がある。そして複式学級も経験したが、当時は、メリット、デメリット両方あったと記憶している。

【丸山会長】

賛否両論あつて当然である。牧区の問題点として、地域協議会で話し合いの場をつくり討論しても良いと考える。

事務局が用意した協議事項以外のその他の部分で、いろいろな貴重な意見を聞くことができた。他、委員からの意見等を求めるが無く、会議の閉会を宣言する。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。